

女川原子力発電所2号機の安全対策（全体像）について

- ▶ 東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓、海外の最新知見などを踏まえ、規制が大幅に強化された新規制基準に対応するため、さまざまな安全対策工事を実施
- ▶ 万一の事故の進展に応じた対策を用意する「深層防護」と、各進展段階の対策に二重・三重の厚み（多様化・多重化）を加えることを基本的な考えとして、さまざまな安全対策に取り組む
- ▶ とりわけ女川原子力発電所では、日本海溝沿いの太平洋側に位置し、地震や津波の影響をより考慮するという「地域特性」を踏まえ、地震・津波対策を強化



※：放射性物質を閉じ込める機能を持つ「原子炉格納容器」及び「原子炉建屋」を破損させない等の対策